

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

|        |                |        |        |       |                                                                                                             |                                    |  |
|--------|----------------|--------|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--|
| 施策No   | 422            |        |        |       |                                                                                                             |                                    |  |
| 施策名    | 教育を支える地域づくりの推進 |        |        | 施策の目的 | ● 学校・家庭・地域が連携しながら、いじめの予防・早期発見・適切な対応を図ります。<br>● 家庭教育を安心して行うことができる環境をつくります。<br>● 子どもたちが地域とのかかわりの中で育つ環境をつくります。 |                                    |  |
| 施策主管部長 | 教育部長           | 施策幹事課長 | 教育総務課長 |       | 関係課                                                                                                         | 市民生活課、学校教育課、教育センター、生涯学習課、こども家庭センター |  |

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察

① 中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

|   | 指標                          | 単位 | 実績基準値 | 実績値  |       |       |       |       | 最終年度（R7）の<br>目標値達成状況 | 左欄の「目標値達成状況」の総括                                                        |
|---|-----------------------------|----|-------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|------------------------------------------------------------------------|
|   |                             |    | R2    | R4   | R5    | R6    | R7    | R7    |                      |                                                                        |
| a | いじめの解消率                     | %  | 66.7  | 69.6 | 62.2  | 64.5  | 73.5  | 100   | ③目標値を下回った            | 各学校においていじめの未然防止、早期対応等に取り組の成果は上がってきているが、目標達成には相当の期間が必要であると考える。          |
| b | 子育てに負担や不安があると回答した小学生の保護者の割合 | %  | 73.7  | 77.2 | 82.8  | 82.3  | 74.2  | 69.0  | ③目標値を下回った            | 育児への経験不足や経済的負担、仕事と家庭生活のバランス等の要因により、子育てに関する負担や不安が増加傾向にあるため目標値を下回ったと考える。 |
| c | 学校支援ボランティア登録者数              | 人  | 778   | 908  | 1,118 | 1,133 | 1,133 | 1,000 | ①目標値を上回った            | コミュニティ・スクールの導入に伴い、学校支援ボランティアの必要性が認知されてきた結果と考える。                        |
| d |                             |    |       |      |       |       |       |       |                      |                                                                        |

② 後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

|                                                                                                                   | 対象      | 対象指標                               |   |     | 単位    | R4      | R5      | R6      | R7      | R8(見込)  | R9(見込)  | R10(見込) | R11(見込) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------|---|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ①                                                                                                                 | 市立学校教職員 | 教職員数                               |   |     | 人     | 656     | 614     | 622     | 628     | 628     | 628     | 619     | 619     |
| ②                                                                                                                 | 家庭      | 小中学生がいる世帯数                         |   |     | 世帯    | 5,947   | 5,811   | 5,777   | 5,536   | 5,525   | 5,514   | 5,503   | 5,492   |
| ③                                                                                                                 | 市民      | 市人口（社人研推計）                         |   |     | 人     | 115,700 | 114,695 | 113,498 | 112,515 | 111,388 | 110,515 | 109,641 | 108,768 |
| ④                                                                                                                 |         |                                    |   |     |       |         |         |         |         |         |         |         |         |
| 目的                                                                                                                |         | 成果指標                               |   | 単位  | 区分    | R4      | R5      | R6      | R7      | R8      | R9      | R10     | R11     |
| ①学校・家庭・地域が連携しながら、いじめの未然防止・早期発見・適切な対応を図ります。<br>②家庭教育を安心して行うことができる環境をつくりま<br>す。<br>③子どもたちが地域との関わりの中で育つ環境をつくりま<br>す。 | ①       | 認知したいじめの解消率(単年度)                   | % | 目標値 | 100.0 | 100.0   | 100.0   | 100.0   | 100.0   | 100.0   | 100.0   | 100.0   | 100.0   |
|                                                                                                                   |         |                                    |   | 実績値 | 69.6  | 62.2    | 64.5    | 73.5    |         |         |         |         |         |
|                                                                                                                   | ②       | 子育てに負担や不安が「とてもある」と回答した小学生の保護者（単年度） | % | 目標値 | －     | －       | －       | 6.0     | 5.5     | 5.0     | 4.5     | 4.0     |         |
|                                                                                                                   |         |                                    |   | 実績値 | 14.3  | 10.9    | 6.5     | 14.5    |         |         |         |         |         |
|                                                                                                                   | ③       | 学校支援ボランティア登録者数（単年度）                | 人 | 目標値 | 970   | 980     | 990     | 1,000   | 1,150   | 1,160   | 1,170   | 1,180   |         |
|                                                                                                                   |         |                                    |   | 実績値 | 908   | 1,118   | 1,133   | 1,133   |         |         |         |         |         |
|                                                                                                                   | ④       |                                    |   | 目標値 |       |         |         |         |         |         |         |         |         |
|                                                                                                                   |         |                                    |   | 実績値 |       |         |         |         |         |         |         |         |         |

(2) 基本方針の取組状況

① 特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

・令和7年度までにコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を市立学校24校中18校に計画通りに導入することができた。また、導入した学校に対し、CSマイスターによる研修の実施や、希望する学校に対してはCSアドバイザーを派遣し、指導及び支援をすることができた。

② 計画通り進捗していない取組

※理由及び今後の対応も含めて記載

・令和7年度は、市の公式LINE、Xなども活用し、相談案内の周知を図ったが、教育相談事業における相談員による相談対応件数が、目標値の180件を下回る142件であった。今後は、教育センターのホームページでの周知や保護者のひろばなど機会を捉えて、様々な方法で周知を図り、相談件数の増加を図っていく。

(3) 令和7年度行政経営方針の取組状況

① 令和7年度行政経営方針

・コミュニティ・スクールの円滑かつ継続的な運営のため、発信力のある媒体の活用を図り、地域住民に対し効果的な情報発信を行う。  
・コミュニティ・スクールの全校導入に併せての学校地域応援団設置や放課後こども教室の充実のため、地域ボランティアの掘り起こしと研修を実施する。  
・いじめ問題等、児童生徒を取り巻く学校や家庭等の環境への働きかけや心のケアのため、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを有効に活用する。  
・教育相談により、保護者、児童生徒の悩みや課題の把握に努め、いじめや各種課題の早期解決を図る。  
・保護者の子育てへの不安解消を促進するため、家庭教育を推進する講座や出前講座の内容や開催方法、周知方法を見直し、講師となる家庭教育支援チームの資質向上に向けた研修を実施する。  
・個別の支援が必要な家庭に対してアウトリーチ型の支援を推進するため、家庭支援チームや家庭教育オピニオンが外向いての相談や情報提供を行う体制の充実を図る。

② 令和7年度行政経営方針の取組状況

・コミュニティ・スクールの円滑かつ継続的な運営のため、広報紙や「CS通信」等により、効果的な情報発信を行った。  
・学校地域応援団や放課後こども教室の充実のため、地域ボランティアの掘り起こしや研修を実施した。  
・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを活用し、いじめ問題等や心のケアにあたった。いじめの未然防止のため、児童生徒が主体となった教育活動を推進した。  
・教育相談の内容に応じ、学校や関係機関に繋いだり継続的な支援を行い、個々のケースに応じた対応を行った。  
・家庭教育を推進する講座や出前講座の開催内容や周知方法の見直しを行うとともに、家庭教育支援チームの資質向上に向けた研修会を実施した。  
・家庭教育推進出前講座や、家庭支援チーム、家庭教育オピニオンリーダーが外向いての相談対応を行った。

(4) 環境変化や関係者の意見、要望等

学校運営協議会委員や地域住民からコミュニティ・スクールの内容や役割等について、理解や周知が図られていないとの意見がある。

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

(1) 課題

①コミュニティ・スクールを支える学校地域応援団を構成するコーディネーター、ボランティアの育成及び資質向上  
②コミュニティ・スクールの円滑な運営のためのサポート体制の整備  
③保護者の子育てへの不安解消  
④教育相談内容の複雑化に伴う解決困難事例に対応するために、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとの連携強化  
⑤いじめの未然防止及び早期対応、いじめの解消  
⑥個別の困難事案に対応する家庭支援チームや家庭教育オピニオンリーダーによる、アウトリーチ型の家庭教育支援の強化

(2) 課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

①学校地域応援団設置や放課後子ども教室の充実を図るため、地域ボランティアの安定的な確保と研修を実施する。  
②コミュニティ・スクールの円滑な運営のため、学校運営協議会へのアドバイザー派遣や委員対象研修の実施などのサポートを継続するとともに、好事例を各校に共有する。  
③保護者の子育てへの不安解消を促進するため、家庭教育を推進する講座や出前講座の内容等を見直すとともに、講師となる家庭教育支援チームの資質向上に向けた研修を実施する。  
④複雑化し増加傾向にある相談に対応するため、いじめ防止アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との一層の連携を図る。  
⑤いじめの未然防止のため、児童生徒が主体となった教育活動を推進する。児童生徒自身が自己選択や自己決定のできる機会の場の設定を行う。また、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のため、1人1台端末を活用した児童生徒の心や体調の変化を把握する県統一のツールの導入について、県の進捗状況を踏まえ、市での導入体制を準備する。  
⑤県教育委員会との連携を図り、学校が取り組んでいるいじめの未然防止策やいじめ問題への対応状況を把握し、指導・助言を行う。  
⑥個別の支援が必要な家庭に対し相談や情報提供を実施するため、家庭支援チームや家庭教育オピニオンリーダーによる支援体制の充実を図る。

(3) 次年度(令和9年度)の取組(案)

①地域の教育力を活かすため学校地域応援団設置や放課後子ども教室の充実を図るとともに、地域ボランティアの安定的な確保と研修の実施に取り組む。  
②コミュニティ・スクールの円滑な運営のため、学校運営協議会へのアドバイザー派遣や委員対象研修等を継続して実施する。  
③保護者の子育てへの不安解消を促進するため、家庭教育を推進する講座や出前講座の内容等を見直すとともに、講師となる家庭教育支援チームの資質向上に向けた研修の実施に取り組む。  
④複雑化し増加傾向にある教育相談に対応するため、いじめ防止アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との一層の連携に取り組む。  
⑤いじめの未然防止のため、児童生徒が主体となった教育活動の推進や、児童生徒自身が自己選択や自己決定のできる機会の場の設定に取り組む。また、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のため、1人1台端末を活用した児童生徒の心や体調の変化を把握する県統一のツールの導入に向け、調整する。  
⑤県教育委員会との連携を図り、学校が取り組んでいるいじめの未然防止策やいじめ問題への対応状況を把握し、指導・助言を行う。  
⑥個別の支援が必要な家庭に対して、相談や情報提供を実施するため、家庭支援チームや家庭教育オピニオンリーダーによる支援体制の充実を図る。

※重点取組は太字・下線で記載